

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和3年5月20日(2021.5.20)

【公表番号】特表2020-516668(P2020-516668A)

【公表日】令和2年6月11日(2020.6.11)

【年通号数】公開・登録公報2020-023

【出願番号】特願2019-556226(P2019-556226)

【国際特許分類】

A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 K	47/68	(2017.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
G 0 1 N	33/574	(2006.01)
C 1 2 N	15/13	(2006.01)
C 0 7 K	16/28	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 K	47/68	
A 6 1 K	39/395	C
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	39/395	L
A 6 1 K	45/00	
G 0 1 N	33/53	D
G 0 1 N	33/574	A
C 1 2 N	15/13	Z N A
C 0 7 K	16/28	

【手続補正書】

【提出日】令和3年4月8日(2021.4.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

非婦人科癌を予防又は処置する為のヒトAMHRⅡ結合性剤。

【請求項2】

前記非婦人科癌が、結腸癌、肝臓癌、肝細胞癌、精巣癌、甲状腺癌、胃癌、胃腸癌、膀胱癌、肺癌、頭頸部癌、腎臓癌、脂肪肉腫、線維肉腫、胸膜中皮腫、メラノーマ、肉腫、脳癌、骨癌、乳癌、前立腺癌、及び白血病を含む群から選択される、請求項1に記載のヒトAMHRⅡ結合性剤。

【請求項3】

モノクロナール抗AMHRⅡ抗体及びそのAMHRⅡ結合性フラグメントからなる群から選択される、請求項1又は2に記載のヒトAMHRⅡ結合性剤。

【請求項4】

下記の抗体からなる群から選択されるモノクロナール抗体である、請求項1～3のいず

れか 1 項に記載のヒト AMHR II 結合性剤：

- a) 配列番号 2 を含む軽鎖及び配列番号 4 を含む重鎖（リーダーを有さない 3 C 2 3 V L 及び V H 配列）；
- b) 配列番号 6 を含む軽鎖及び配列番号 8 を含む重鎖（リーダーを有さない 3 C 2 3 K V L 及び V H 配列）；
- c) 配列番号 10 を含む軽鎖及び配列番号 12 を含む重鎖（リーダーを有さない 3 C 2 3 軽鎖及び重鎖）；
- d) 配列番号 14 を含む軽鎖及び配列番号 16 を含む重鎖（リーダーを有さない 3 C 2 3 K 軽鎖及び重鎖）。

【請求項 5】

下記の配列を含む複数の CDR を含むモノクロナール抗体である、請求項 1 に記載のヒト AMHR II 結合性剤：

CDRL - 1 : R A S X 1 X 2 V X 3 X 4 X 5 A (配列番号 65)、ここで、X 1 及び X 2 は独立して S 又は P であり、X 3 は R 又は W 又は G であり、X 4 は T 又は D であり、及び X 5 は I 又は T である；

CDRL - 2 は、P T S S L X 6 S (配列番号 66) であり、ここで、X 6 は K 又は E である；並びに

CDRL - 3 は、L Q W S S Y P W T (配列番号 67) である；

CDRH - 1 は、K A S G Y X 7 F T X 8 X 9 H I H (配列番号 68) であり、ここで、X 7 は S 又は T であり、X 8 は S 又は G であり、及び X 9 は Y 又は N である；

CDRH - 2 は、W I Y P X 1 0 D D S T K Y S Q K F Q G (配列番号 69) であり、ここで、X 10 は G 又は E である、並びに

CDRH - 3 は、G D R F A Y (配列番号 70) である。

【請求項 6】

上記結合性剤が、抗体薬物コンジュゲートからなる、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載のヒト AMHR II 結合性剤。

【請求項 7】

AMHR II 結合性の操作された受容体である、請求項 1 に記載のヒト AMHR II 結合性剤。

【請求項 8】

AMHR II 結合性の操作された受容体を発現する細胞である、請求項 1 に記載のヒト AMHR II 結合性剤。

【請求項 9】

AMHR II 結合性の操作された受容体を発現する CAR T 細胞又は NK T 細胞である、請求項 8 に記載のヒト AMHR II 結合性剤。

【請求項 10】

1 以上の他の抗癌活性剤をさらに含む、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載のヒト AMHR II 結合性剤。

【請求項 11】

個体が、請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載のヒト AMHR II 結合性剤での癌処置に応答性であるかを判断する方法であって、上記個体から予め得られた腫瘍組織サンプルが、細胞表面において AMHR II タンパク質を発現するかを決定する工程を含む上記方法。